第４グループ

質問内容	答弁内容
【区の自然環境の保護と発展のバランスについて】 区の自然環境の保護と発展のバランスをとるためにどのような対策を進めていくのか。	マンションやビルの建設の際は、景観や緑化に配慮するよう開発事業者と十分に話し合い、「都市の機能性と自然環境との共生」を保ったまちづくりを進めてきた。今後も「みどりを守り、育み、創る」という本区の「みどりの将来像」の実現に向けて、区民と一緒に取り組んでいく。
【路上駐輪対策について】 （1）駐輪場を増やすことを考えてほしい。 （2）路上駐輪の問題を解決するための考えは。	（1）駐輪場は地下駐輪場等を作り、10 年間で 13,401 台増やしてきた。現在は 51,447 台分の収容がある。同じく 10 年間で違法駐輪が 9,038 台から 229 台まで減った。 （2）放置禁止のエリアを指定して、駅周辺に放置せず、駐輪場を利用していただくよう誘導している。それでも置かれて通行の支障になっているものは撤去している。併せて駅周辺の商店街とともに、放置自転車を無くすための環境改善に取り組んできた。放置自転車は減っているが、指摘のとおり、若干見られる。駐輪場を利用していただくよう、放置自転車ゼロのまちを目指して呼びかけていく。
【水害対策（発生時の情報共有)】 ＳＤＧｓの「住み続けられるまちづくりを」のためにも、水害対策の周知や取り組みについてどの様に考えているか。	一昨年の台風 19 号の時のように、しっかり情報発信をして、それを区民の方に受け止めてもらう構築をしっかりしていきたい。区からは防災無線、メールニュース、ＳＮＳ等、様々な情報ツールを使いながら情報発信をしていく。こういったことは特に平時の勉強や備えが非常に大切であり、現在、ホームページで、風水害に関する区民ニュースを記載し、今年は防災マンガも連載している。我が事として捉えてほしいと思う。
【水害と区の魅力の共存・両立】 住みたいと思ってもらえるような、魅力あるまちになってほしいが、水害リスク周知と江戸川区の魅力発信をどのように両立させるのか。	本区は一旦浸水をすると、2 週間以上水がひかないと想定しており、3 年前に江東 5 区で広域避難という計画を立てた。これを区のハザードマップに反映し、表紙に「ここにいてはダメです」と書いた。これは区民の命を守るための一番適切な避難行動であるということを訴えている。逆に、水辺豊かな潤いのある環境であり、河川敷や沢山の自然豊かな環境を広めていく。

第４グループ

質問内容	答弁内容
【文化や地域交流の推進】 本区の文化や地域の特色を知り、また外国人にも本区の良さを知ってもらうなど、区内で文化や地域交流をさらに進めていくべきでは。	皆さんが自分の地域のことを知り、また江戸川区の特色や文化を学ぶことは大変重要なことである。多くの先人たちが築いてきた地域や文化に誇りを持ち、外国人との交流の中で皆さんが学んだことを伝え、共有することは大変重要なことだと考える。区も交流の機会のお手伝いや様々な取り組みを改めて強めていくので、一緒にわが町、江戸川区の魅力を作って伝えていきたいと考えている。
【受動喫煙のさらなる対策について】 禁煙週間の一週間のみの禁煙啓発では不十分であり、年間を通した啓発を。	受動喫煙の影響について、しっかり考えていただいている思いが、伝わった。受動喫煙はあってはならないし、様々な取り組みを進めてきた。ただ、今回の質問で、まだ足りない部分があると感じた。受動喫煙の防止ということで、路面のステッカーや啓発の看板を主要な駅周辺のところに掲示している。また、喫煙している方に対して、病院で治療するための助成等の案内をしている。いろいろな取り組みを、積み重ねていくことによって、受動喫煙による被害がより少なくなるように、啓発・周知に努めていきたい。
【制服選択制の周知】 ジェンダー平等に向けての理解を深めることができると思うので、制服選択制という制度についてもっと広く知らせるべき。	世の中には様々な価値観があるので、一つの物差しで決めるべきではない。制服についても同じことで、自分の気持ちに沿わない制服を着ることによって学校生活が苦痛になってしまうことはあってはならない。区内中学校で制服の選択制を採用している学校が増えている。また、現在準備を進めている学校もある。その制度や現状について、お知らせすることも大変必要なことである。全ての人が安心して学校生活を送れるように、これからも進めていきたい。